

# 令和6年度 学校評価（生徒・保護者・職員）

御宿町立御宿中学校

各項目とも、それぞれの観点で評価し、評価欄に1～4の数字を記入して下さい。  
 （4：達成できた 3：ほぼ達成できた 2：あまり達成できなかった 1：達成できなかった）

評価項目		評価の内容	R6 職員	R6 生徒	R6 保護者	考察	
教育目標	教育目標	1 教育目標の内容や表現は、本校の実態に則し、妥当であった。	3.9	3.4	3.1	職員の評価は非常に高いが、生徒および保護者の評価は低く、職員との意識の差が大きい。「学校からの情報発信」の項目では、保護者の肯定的評価は「3.6」と高いため、生徒の活動の様子については伝わっているが、その意義についての周知が不十分であると考え。教育活動の意義について、十分に周知していく。	
		2 教育目標を理解し、その具現化に向けて意識して取り組んだ。	3.5				
	学年・学級	3 学校の方針に基づき主体的に実践できた。	3.5				
		4 学級の問題を学年・学校の問題として捉え、取り組んだ。	3.6				
教科・領域	教育課程	5 教育課程の実施状況を点検・調整して、充実に努めた。	3.5	/	/	「働き方改革」を念頭に置いた行事等の精選、教育課程の編成を行うことができた。また、外部講師の招聘も積極的に行った。いっぽう、保護者から「行事等が削減されすぎている」との声も上がっている。次年度も慎重に編成に取り組みたい。	
		6 年間行事計画の内容は、本校の実態に即して適切であった。	3.6				
		7 外部人材の活用は、効果的に行われた。	3.6				
	各教科	8 生徒指導の機能を生かした授業の実践ができた。	3.4	3.7	3.3	生徒の肯定的評価が、職員の自己評価より高い反面、保護者からの評価は低い。生徒は「職員の指導」については高く評価しているが、自分自身の「家庭学習の意欲」については「2.9」、「学習内容理解」については「3.2」と低く評価している。その点を踏まえ、次年度は「教職員の授業改善の工夫」に注力していく。	
		9 学力向上に向けた取り組みを積極的に行った。	3.5	3.7	3.0		
		10 個を生かす指導を実践できた。	3.4	3.6	3.4		
		11 基礎・基本の定着に重点を置いた実践ができた。	3.6	3.7	3.0		
		12 教育機器の活用は、積極的になされた。	3.2	/	/		
		13 生徒個々に対する評価を計画的に行うことができた。	3.4				3.6
	道徳	14 指導計画に基づいて実践できた。	3.5	3.4	3.4	「思いやりの心」についての肯定的評価が、生徒・保護者ともに高く、職員の評価ともほぼ一致している。	
		15 生徒の実態に応じて内面的な深まりを目指した指導法を工夫した。	3.4				
	特別活動	16 学級活動の運営や生徒の活動は良好であった。	3.5	3.5	3.3	保護者の評価はやや低い、職員・生徒でほぼ一致しており、充実した活動が行われていると考える。	
		17 生徒会（専門委員会）の運営や活動は、良好であった。	3.5				
		18 部活動の運営や生徒の活動は、良好であった。	3.4				3.5
	総合的な学習	19 総合的な学習の時間の趣旨を理解して取り組んだ。	3.6	3.5	3.2	「地域理解」について、充実を図っていく。	
	キャリア教育	キャリア教育	20 職業観・勤労観の形成を図るために、啓発的な指導を実施した。	3.4	/	/	生徒・保護者の学校評価に「キャリア教育」を取り出した項目はないが、学年の発達段階に応じた指導ができたと考え。
			21 進路指導資料を収集し、整理と活用に努めた。	3.6			
	生徒指導・相談	指導体制	22 生徒指導委員会の運営は、適切に行われた。	3.5	3.6	3.0	「生徒の悩みやいじめなど困っていることについて親身に対応している」について、保護者の評価は「3.0」となっているが、生徒の評価は「3.6」と高い評価となっており、解離が見られる。思春期を迎え、親には聞かれにくい内容もありデリケートな内容なので、今後は教育相談アンケートの実施と件数を報告するなど、保護者にも周知していきたい。
23 全職員の共通理解に基づく実践をすることができた。			3.6				
指導と活動		24 積極的な生徒指導の具体的な方策を実践することができた。	3.4				
		25 問題行動への対応は、適切に行われた。	3.6				
		26 保護者との連携は、円滑に行われた。	3.6				
保健管理	保健指導	27 生徒の健康観察を十分にし、適切な対応がなされた。	3.8	3.6	3.4	保護者の評価はやや低い、職員・生徒でほぼ一致しており、充実した活動が行われていると考える。	
	体育指導	28 運動の楽しさや喜びを味わわせる指導の充実を図った。	3.6				
	給食指導	29 食に関する（食べ方の指導、配膳・後片付け等）指導は、適切にできた。	3.6				
安全管理	安全教育	30 交通指導を含め、安全教育を適切に行うことができた。	3.4	3.8	3.2	生徒の肯定的評価が、職員の自己評価よりも高い。今後、南海トラフ地震等の大規模災害を想定し、保護者や地域と連携した避難訓練等の安全指導を実施していく。	
		31 学校安全への配慮・実践がなされた。	3.6				
		32 災害時を想定した訓練等を実施し、適切に指導できた。	3.6				
特別支援教育	特別支援教育	33 特別な教育的支援に関わる校内組織を作り、効果的に機能していた。	3.6	/	/	生徒・保護者の学校評価に「特別支援」を取り出した項目はないが、校内支援委員会や外部機関との連携を充実させることができた。	
		34 特別な支援を要する生徒と他の生徒との望ましい人間関係ができるように指導ができた。	3.5				
組織運営	校務分掌	35 校務分掌は、学校の実態に基づいて編成され、十分に機能していた。	3.4	/	/	昨年度の職員自己評価と比較し、向上がみられる。各分掌の主任を中心に、円滑な運営がなされていると考える。次年度に向けて、特に中堅職員への分掌負担が大きくなるように、編成を考えたい。教育公務員としての自覚を高め、引き続き不祥事防止の徹底を図る。諸物価の高騰を踏まえ、消耗品の使用の無駄を無くすよう努めていく。	
		組織（分掌）	36 各主任活動が、機能的に運営されていた。				3.5
	37 職員間の連携は、円滑になされていた。		3.5				
	勤務状況	38 勤務に対する自覚は、十分だった。	3.6				
	文書処理	39 收受・発送・行事届・申請の処理は、適切に行った。	3.7				
	事務機器	40 事務機器は整備・活用され、消耗品の無駄はなかった。	3.5				
研究・修養	研究	41 研究目標達成のために、課題意識を持って研究に取り組んだ。	3.4	/	/	校外研修が大幅に増加している。職員の過度の負担とならない範囲で、引き続き校内研修の充実に努める。	
	修養	42 自らの資質や豊かな人間性を高めるために、日頃から研鑽に努めた。	3.4				
保護者	協力性	43 P T A や地域の活動に積極的に関わった。	3.5	/	/	「御中Tシャツ」の作成等、生徒・保護者のアイデアを取り入れた活動を行うことができた。	
	意見の反映	44 保護者や地域の意見や要望を可能な範囲で取り入れ、教育活動に反映させる努力をした。	3.5				
設備・備品	設備・備品	45 設備・備品は整備され、活用することができた。	3.4	3.7	3.5	生徒、保護者の評価が、職員の自己評価よりも高い結果となっている。引き続き、生徒・保護者・地域の期待に応える環境整備を行いたい。	
	環境整備	46 校舎内外の環境整備に積極的に取り組んだ。	3.5				

**【課題や来年度への要望等を自由記述（職員）】**

- ・生徒指導の機能を活かした授業についての校内研修の場を設けた方が良いと思います。
- ・道徳は、相互参観の日にちを設定し、学期に1回でもお互いに意見交換等した方が良いと思います。
- ・積極的な生徒指導について、校内研修等で学ぶ場を設けた方が良いと思います。
- ・校務分掌については、より実態に即した編成によってより機能するように考えたい。
- ・次年度への改善点が協議検討され、今年度のようによりよい御宿中学校になることを望みます。